

# 『信』

令和2年9月1日（火）

**9月がスタートしました。一日一つ『思い出』を作っていきます。**

8月が終了しました。今日からいよいよ9月です。ちょうど1週間経ちましたが、宮城県からお越しいただいた講師の先生方のお話は心に残っているのでしょうか？3ヶ月前の6月、ようやく学校が再開されました。今日から9月がスタートしましたが、初日から当たり前のように全員で授業に参加しています。もちろん暑い時期でしんどいこともあるかもしれませんが、2年生の3月からの3ヶ月間は、学校へ登校できないのが当たり前でした。

夏休みもありましたが、ようやく同じ3ヶ月が経ち、**学校に登校するのが当たり前に変わりつつあると思います。**震災を経験された先生方の話は、みんなにとってとても信じがたい内容だったと思います。でも9年以上経ち、辛い気持ちや悲しみと向き合いながら、ご自身が経験されたことを、大阪にいるみんなに包み隠さず話してくださいました。個人的に特に印象に残っているのが、雁部さんが伝えてくださった、《一日一つ『思い出』を作してほしい》という言葉です。

学校が再開された時、教室で授業を受けられることがうれしい、友だちと会えるのがうれしい、部活ができるのがうれしい・・・と思っている人が多かったと思います。だけど当たり前に戻れば戻るほど、それがうれしくなくなり、辛い、しんどく思ってしまう。でも震災で被害があった皆さんや、戦争の時代の人たちにとって、**今のみんなの当たり前は、本当にうらやましく幸せです。**もしこれを読んでいる人の中で、今の人生が辛い人がいたら、ぜひ一度立ち止まって、足元にある大切なものを見渡してみてください。きっと何か変わると思います。そして仲間と過ごす何気ない日常に幸せを感じて、一日一つ思い出を作りましょう。実力テスト、修学旅行も目の前まで近づいてきました。ぜひ達成感を感じられるよう、努力を継続してください★☆☆

「辛い」と  
「幸せ」は、  
遠い関係では  
ありません。  
辛に一本  
足すと『幸』  
辛くても、何か  
一つ足すだけで  
幸せになれる  
んです。